

答 申 第 1 号
令和2年12月22日

那覇市長 城間 幹子 様

那覇市真和志複合施設建設委員会

委員長 小倉 暢之
副委員長 田島 繁
委員 赤嶺 剛 池添 昭二
岩田 直子 瀬口 浩一
小野 啓子 東川平 信雄

「(仮称)新真和志支所複合施設基本計画」策定について(答申)

令和2年6月18日付諮問第1号で貴職より諮問のあった見出しの件について審議してきた本委員会は、市から提示された(仮称)新真和志支所複合施設基本計画の原案について、おおむね是認できるものと決定しました。

ただし、委員から留意を望むとの意見もあったことから、下記のとおり、これらについての意見も付して、本委員会の審議結果として答申します。

記

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい財政状況が続くと見通されるので、事業執行にあたっては、財政負担の軽減に留意すること。
- ・ 市民会館の建築的意義等の継承については、新たな提案に期待するものの、厳しい財政運営が予測されるため、予算の範囲内に留めること。
- ・ 部分復元もしくは再現を行うに際しては、新施設の機能を損なうことのないよう留意すること。
- ・ 施設を複合化することにより生じる余剰地については、固定資産税収入をはじめとした税収入の確保を図る観点から、売却を検討すること。
- ・ PPP手法を採用する場合は、事業の周知を十分に行い、多くの事業者の参画、とりわけ地元企業の参画が得られるように留意すること。
- ・ 民間施設との複合施設とする場合には、基本計画で定めたコンセプトや基本的な考え方に沿った施設となるよう留意すること。
- ・ 与儀公園については、本複合施設等との連携により相乗効果が高まる公園となることを期待し、引き続き市民に親しまれる公園とすること。